

# ケアネットせとうち通信

安心して暮らせる地域を目指して

## 瀬戸内市在宅医療看護研修会

【日時】 令和元年11月9日(土) 13:25~15:35

【場所】 瀬戸内市民病院 さんさんホール

講演「認知症の人の意思決定支援について～本人・家族支援の現場から～」

講師 公益社団法人 認知症の人と家族の会岡山県支部

副代表 安藤 光徳 氏 (社会福祉士)

講演「在宅における認知症医療について～認知症のあれこれ～」

講師 那須医院 医師 那須 正紀 氏 (認知症サポート医)

事例発表「認知症の人の在宅支援を考える」

発表1 「家族と共に私らしく生きる～薬物療法と非薬物療法を組み合わせて～」

瀬戸内市小規模多機能型居宅介護事業所連絡会

小規模多機能ホーム夢路 管理者 安積 勇樹 氏

発表2 「地域で認知症の方を支える」

NPO法人岡山県介護支援専門員協会瀬戸内支部 支部長

スマイルライフ 管理者 木村 隆之 氏

座長 長田医院 院長 長田 建 氏

主催：邑久医師会、瀬戸内市

共催：NPO 法人岡山県介護支援専門員協会瀬戸内支部、瀬戸内市小規模多機能型居宅介護事業所連絡会



安藤 光徳 氏



研修会には、市内の医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・介護支援専門員等 46 名が参加しました。

認知症の人と家族の会の活動や認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドラインを知り、認知症の人の支援の在り方を深く考える機会となりました。

那須医師の講演では、認知症初期集中支援チームの活動状況や認知症の症状、支援者の適切な対応方法など多岐にわたりご教授いただきました。

事例発表では、認知症の人が家族とともにその人らしく生きるための環境づくりとして、支援者は本人とその家族の両方の思いを共通理解し、本人の能力だけでなく、家族の介護力や地域の多様なネットワークを活用して、多方面で柔軟な支援を考え、実行していくことの重要性を学びました。



# 瀬戸内市在宅医療多職種連携研修会

## 第1回 「ステージで異なる認知症支援～認知症のBPSDを中心に～」

【日時】令和元年9月5日（木）19:00～20:30

【場所】瀬戸内市総合福祉センター

【講師】公益財団法人慈圭会 慈圭病院 副院長  
岡山県認知症疾患医療センター 石津 秀樹 氏

【参加者】110人



石津 秀樹 氏

認知症の行動・心理症状に遭遇したときには、4つの着眼点により、総合的にアセスメントし、多面的な視点で当事者の意思決定支援を考えていくことの大切さを学びました。また、最新の薬物療法等、個別事例の支援のあり方について理解を深め、医療・介護分野の多職種連携の必要性を再認識しました。



## 第2回 「脳卒中について」

【日時】令和元年10月10日（木）19:00～20:30

【場所】瀬戸内市総合福祉センター

【講師】岡山赤十字病院 脳卒中科 部長 岩永 健 氏  
岡山赤十字病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 末永 綾香 氏

【参加者】111人



岩永 健 氏



末永 綾香 氏

### 脳卒中のサイン FAST

脳梗塞かどうか迷ったら、「FAST」を試してみましょう！



Face

顔がゆがむ  
片側が下がっている



Arm

片側の腕に  
力が入らない



Speech

言葉が出ない、わからない  
ろれつが回らない



Time

時間！ F・A・Sの1つでも  
急に起きたらすぐに病院へ！



脳卒中の予防の重要性や症状が急変した時の適切な対応として FAST による判断方法など実習と動画を交えて、ご講演いただきました。医療職だけでなく、福祉職の方も脳卒中は身近な病気であり、利用者の異変に気づき、早期に対応することによって、その人の生活の質を維持することができるということなど脳卒中について理解を深めることができました。

# 瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会を開催しました

愛称：ケアネットせとうち

医療・福祉・保健の関連団体より選出された委員が連携し、在宅医療・福祉・保健連携推進に必要な事項について検討を行っています。

## 第2回 令和元年9月26日（木）

岡山県保健福祉部長寿社会課の事業を活用し、VRシステムを活用した認知症疑似体験研修を行いました。各機関・団体にも研修内容を持ち帰っていただき、認知症の当事者の気持ちに寄り添い支援していけるよう、今後も取り組みを進めていきたいと考えています。

## 第3回 令和元年12月5日（木）

第2回の協議会で実施したVR認知症疑似体験を活かした各機関・団体の認知症対策や、地域包括ケア実行計画の重点項目の見直しについて協議を行いました。



ヘッドセットを装着して行った認知症疑似体験研修



# 瀬戸内市福祉サービス事務所向け研修会

トータルサポートセンターでは、障がいのある方への支援を充実するために取り組んでいる基幹相談支援業務の事業として、今年度、障がいのある方への支援に携わっておられる職員の方を対象とした研修を開催しました。

## 精神障害基礎研修

【開催日】 第1回：令和元年7月10日 第2回：令和元年11月13日

【講師】 岡山県精神保健福祉センター

副参事（医師）山内 泰彦 氏（第1回）

地域支援コーディネーター（保健師）

大谷 美佐恵 氏（第1回・第2回）

【参加者】 第1回：44人 第2回：20人

精神障害の特性を理解したうえで、当事者の方の気持ちを想像し、寄り添う気持ちを持つことの大切さや、支援をしていく上での視点・姿勢について学ぶことができました。



山内 泰彦 氏



大谷 美佐恵 氏



## 知的障害基礎研修

【開催日】 第1回：令和元年9月30日 第2回：令和2年1月15日

【講師】 株式会社トモニー 事業部長 川西 大吾 氏

【参加者】 第1回：32人 第2回：20人

言葉によるコミュニケーションの難しさや当事者の方の気持ちを体験し、当事者の方が持っている能力を発揮できる環境を整えることや見通しを持てるように情報を伝えることの大切さなどを学びました。



川西 大吾 氏





# 第19回 令和元年11月21日(木) 19:00~20:30



テーマ

## 「こんなサービスあったらいいな♪ できたらいいな♪」



第19回せとうちカフェを開催しました。

今回のテーマは、「こんなサービスあったらいいな♪できたらいいな♪」とし、最初にグループごとに状況設定（①視覚障害、②聴覚障害、③うつ、④認知症、⑤半身麻痺、⑥LGBT、⑦ひきこもり）をくじ引きで決めました。

チャット1では、「当事者の気持ちになって、困りごとを考えてみましょう」ということでトークをしていただきました。少人数のグループでの話し合いのため、せとうちカフェに初めて参加された方の中には他の事業所と話す機会があまりなかった方もおられました。リラックスして話すことができ、各テーブルで話が盛り上がっていました。

チャット2では、状況設定はそのまま「こんな〇〇あったらいいな♪できたらいいな♪」と、できるできないに捉われず、自由な発想で夢も含め、語り合ってもらいました。

今回のせとうちカフェは、テーブルごとで異なる状況設定をしたので、リピーターの参加者の方にも「新鮮」と感じていただけたようでした。次回は2月13日(木)の開催予定です♪



## トータルサポートセンター（ケアネットせとうち事務局）のご案内

医療・福祉・保健等に関する総合的な相談を受け、多職種連携で支援を行います。

### 【相談対応職員】

保健師

### 【相談時間】

午前8時30分～午後5時15分

（土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く）

### 【所在地】

瀬戸内市邑久町山田庄845番地1  
（瀬戸内市民病院1階 玄関南側）

【電話番号】(0869) 22 - 3800

【ファックス番号】(0869) 22 - 3801



ケアネットせとうち

